

JIHa ユースクラブ 2017 : 9期生の参加者募集

2007年に発足したJIHa ユースクラブは、昨年度に東京にて8期目が開催され、これまでに103名の参加者がコースを修了しました。

若手・中堅会員の計画・設計スキルアップや組織の枠を越えたネットワーク作り、医療福祉建築の研究者や先輩設計者との交流、講義からの修得や他社の取り組み方にも接することができたと、これまでの参加者には好評でした。

さて、今年度は開催地を大阪とし、下記のプログラムにて9期生を募集します。若手・中堅実務者を対象とし、参加型の少人数登録制として、毎月1回土曜日に行う方針はこれまでと同様です。

なお、計画・設計系だけでなく、運営・看護系の方の参加も歓迎致します。ふるってご参加ください。

世話人一同

記

JIHa ユースクラブ 2017 : 9期生 (大阪開催)

参加資格 JIHa 会員、会友 ※A会員・会友の法人に所属される方も参加資格がございます。
※自薦・他薦は問いません。

定員 16名程度 (定員になり次第締め切ります)

参加方法 登録制 (代理・交代出席は不可)

参加費 64,800円 (税込、5回通し、交流費は含みません)

世話人 小原博之 (清水建設)、千種幹雄 (昭和設計)、本田孝子 (日建設計)、
道浦嘉奈子 (鹿島建設)、湯浅篤哉 (大林組)、小菅瑠香 (帝塚山大学)

～世話人は原則として毎回出席予定

※事務局支援 嶋田花織 (Shimada Kaori Design)

テーマ 『これからのがん拠点のあり方を考える ～治療・ケア・生活環境の視点で～』

企画内容 下記の5回。毎回、終了後に交流会 (会費制) を行います。(企画は若干変更されることがあります。)

① 自己紹介&設計課題説明・グループ討議

10月21日(土) 13:00-17:30 [会場: 清水建設]

初回は自己紹介を行います。竹宮健司氏 (首都大学東京) よりがん医療におけるサポーターケアとその環境について講義を受けた後に、課題の趣旨についての説明を受けて頂きます。

[コーディネーター: 小菅瑠香氏 (帝塚山大学)]

② 現場から深く学ぶ 11月11日(土) 13:00-17:00 [会場: がん治療関係施設 (調整中)]

病院の見学を兼ねて、現場でスタッフやコーディネーターのお話を伺いながら、がん診療連携拠点病院につき、事例を通して深く学んで頂きます。

[コーディネーター: 河口豊氏 (滋慶医療科学大学院大学)]

③ 課題設計を行う・前編 ～エスキス・中間講評編～

12月9日(土) 13:00-17:30 [会場: 鹿島建設]

講師に田村恵子氏 (京都大学) をお迎えしテーマに関する講義を受けた後に、課題設計に取り組みます。エスキス作業中は世話人が参加してアドバイスします。最後に基本構想を発表していただき、全員で意見交換を致します。

[コーディネーター: 河合慎介氏 (京都府立大学)]

④ プロポーザルの審査をする

1月27日(土) 13:00-17:00 [会場: 日建設計]

グループに分かれ、既往の公募型プロポーザルの応募作品を対象に模擬審査を行います。作品を評価する側に立ち、選評まで書いてみることで新しい視野が開けることを期待します。

[コーディネーター: 箕淳夫氏 (工学院大学)]

- ⑤ 課題設計を行う・後編 ～計画・講評編～ 2月24日(土) 10:00-17:00 [会場：大林組]
前編でつくった基本構想に従って、午前中に基本計画をして頂きます。午後に各々計画を発表、コーディネーターや世話人を交え、全員で批評しあいます。

[コーディネーター：今井正次氏（三重大学名誉教授）]

建築CPD（継続能力/職能開発）情報提供制度認定プログラム

追記 最終回に修了証を発行します。

※申し込み方法

- 1) 申し込み方法：E-mailに限ります。
- 2) 申込みの確認：お申込み頂いたものについては順次返信を致します。3営業日以内に返信が届かない場合は事務局までご連絡ください。
- 3) 記入事項：件名「JIHa ユースクラブ 2017 参加申込み」 ①参加者名（ふりがな）、②生年月日・年齢、③勤務先・部署、④電話番号、⑤E-mail アドレス、⑥〒・住所（返信先）を記載のこと。
- 4) 申込人数：機会均等のため、応募者多数の場合は法人会員の参加者数を調整させていただきます。

日本医療福祉建築協会事務局 E-mail : office@jiha.sakura.ne.jp